

3 令和2年度予算の状況 //////////////

(1) 補正の状況

令和2年度当初予算については、前回の公表で説明しましたが、その後の補正状況は、計数関係資料2-1のとおりです。以下、補正の状況を説明します。

(ア) 4月専決

4月専決は、新型コロナウイルス感染症に係る即刻対応すべき対応経費など、総額91億円を専決処分しました。

具体的には、医療機関に対するウイルス検査機器の導入支援をはじめ、軽症ないし無症状患者を受け入れる民間ホテルの借上げに係る経費等を計上しました。

また、金融機関から実質無利子・無担保で融資を受けられる県制度融資の創設など、経済対策に要する経費も計上しました。

(イ) 第2回県議会臨時会

5月補正予算においても、新型コロナウイルス感染症への対応経費など、総額101億円を計上しました。

具体的には、感染拡大防止対策として、県の発出した休業協力要請に全面的にご協力いただいた中小事業者の方に対し、新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金を支給する経費を計上しました。

また、保育所等の閉所に伴い保護者が負担する利用料の軽減や、学校の臨時休業に伴うオンライン学習の推進などに必要な経費を計上しました。

さらに、感染症のまん延期に耐えうる医療提供体制の充実・強化として、各圏域での地域外来・検査センターの設置や、代替職員を雇用する医療機関への助成に係る経費等を計上しました。

(ウ) 第3回県議会定例会

6月補正予算は、新型コロナウイルス感染症への対応経費のほか、新たな日常に対応するための経費など、総額1,105億円を計上しました。

まず、感染防止・医療について、医療機関や学校等が実施する感染拡大防止対策を支援するほか、検査体制のさらなる充実のため、地域外来・検査センターの設置や医療機関における検査機器の導入支援に係る経費を計上しました。

次に、経済の再生として、金融機関から実質無利子・無担保で融資を受けられる県制度融資等を増額するとともに、将来を見据えた新商品の開発や地場産業の振興に向けた対策を強化するとともに、観光のリスタートとして、感染防止対策や、AIシステムの導入など、新たな日常に対応した観光施設づくりに係る経費等を計上しました。

さらに、教育体制の再整備として、県内の高等学校・特別支援学校に学習用タブレットを配備するほか、オンライン教育環境の充実を図るための経費を計上しました。

(2) 執行状況

令和2年度一般会計の9月30日現在の執行状況は、計数関係資料2-2のとおりです。

歳入では、収入額4,196億円となり、歳入予算現額1兆357億円に対して、40.5%（前年同期40.1%）と前年度に比べて0.4ポイント上回っています。

歳出では、支出額3,801億円で、歳出予算現額1兆357億円に対して、36.7%（前年同期37.3%）と前年度に比べて0.6ポイント下回っています。

第9図 令和2年度一般会計歳入予算執行状況(令和2年9月30日現在)

